多摩リハビリテーション学院専門学校

令和４年度 第１回 教育課程編成委員会　議事録

日　　時　：　令和４年５月30日(月)　11時20分～12時20分
場　　所　：　多摩リハビリテーション学院専門学校　学院ホール201教室
教育課程編成委員：林義巳副学院長、岩戸徹教務部長、（作業療法学科）清水誠学科長・中村晃一主任・横濱秀征副主任、（理学療法学科）佐藤譲司学科長・成塚修一主任、（言語聴覚学科）木村欣司学科長、（介護福祉学科）鈴木健二朗学科長・竹内克主任、藤枝幹大主任、黒田英寿事務長(青梅商工会議所常議員)、景山雄介事務課長、大堀隆二氏(社会福祉法人一石会統括施設長、青梅商工会議所常議員)、池田隆純氏(医療法人社団和風会リハビリテーション部長・PT)、人見太一氏(杏林大学)、池田健祐氏(所沢リハビリテーション病院リハビリテーション科技士長・OT)、赤松栄晃氏(所沢リハビリテーション病院リハビリテーション科課長・ST)、委員18名

記

１．報告事項

（１）４月の就職活動講座

林副学院長より以下の報告があった。

〈日時〉４月19日（火）10:00～12:30

〈対象〉理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科の最終学年

〈内容〉株式会社マイナビ

①はじめに（キャリアデザインとは）②就職活動のマナー

③履歴書の書き方（お礼状の書き方、メールの表題と文章作成）④面接の受け方

・医療法人社団和風会池田リハビリテーション部長より和風会紹介と求人について

（２）学生募集状況について

岩戸教務部長より以下の報告があった

（2022年度）

資料請求：2,759名

→体験会：574名（資料請求者の20%）

→志願者数：217名※1（体験会参加者の37.8%）

→入学者数：139名※2（志願者の64.1%）

志願者、ならびに入学者状況（2022年度）

※1 作業療法学科57名、理学療法学科100名、言語聴覚学科31名、介護福祉学科29名、計217名

（３）各学科からの報告

・新学期のクラス状況、臨床実習等（添付資料参照）

・作業療法学科：清水学科長

・理学療法学科：佐藤学科長

・言語聴覚学科：木村学科長

・介護福祉学科：鈴木学科長

２．法律関係の確認事項（委員会関係部分）

以下、岩戸教務部長より説明があった。

（１）理学療法士・作業療法士学校養成施設指定規則（添付資料参照）

（２）言語聴覚士学校養成所カリキュラム等改善検討会（令和６年４月入学生）（添付資料参照）

３．意見交換・その他

人見太一氏（杏林大学）

・就職に関して、在学生及び留学生の心理的サポートについて意見があった。

赤松栄晃氏（所沢リハビリテーション病院）

・ST の魅力を伝える難しさ等について意見があった。
また実習は担当症例を持った方が指導しやすいとの意見があった

池田健祐氏（所沢リハビリテーション病院　リハビリテーション科技士長）

・留年しないように対策について意見があった。

池田隆純氏（医療法人社団和風会リハビリテーション部長）

・学生募集の仕方について、教員も学科だけでなく学校全体の魅力を伝えられるように意見があった。
学生は人数の少ない学校には入ってこないと意見があった。

大堀隆二氏（社会福祉法人一石会統轄施設長、青梅商工会議所常議員）

・募集状況について、どこの数字を伸ばすには何をしたら良いかを検討してくださいとの意見があった。
また留学生の教育大変だと思うが施設側ではどういう介護福祉士を期待しているか等の意見も取り入れて教育してほしいと意見があった。

黒田英寿氏（多摩リハビリテーション学院専門学校事務長、青梅商工会議所常議員）

・学生募集状況について歩留まりを上げるよう意見があった。
今年度は職業実践専門課程の申請もしっかりできるよう意見があった。